

世界観の正本 v2 — 定住から、もう一度の遊動へ

v2 / 2026-09-24

Gugen株式会社 内部検討用草稿（構想・未実証）

目次

0. この版で決めたこと (CEO・2026-09-24)

0-2. 2026-10-11 の CEO 追記 (この3点は上の表と §4 に優先する)

1. 思想の骨格 ― 一文で

1-1. 交換様式 (出典と読み方)

1-2. 私たちの読み (ここからは〔解釈〕)

1-3. 風穴の定義

1-4. DAO の位置

2. 梯子と年表

3. 名前の候補 (CEOが選ぶ)

世界全体 (いまの SYMBIOM/決裁 ef2d46d7)

段ごと

4. 各段の都市構造 (3Dシーンの設計書)

4-1. 2026 一人の器

4-2. 2030 村 (ネオ縄文)

4-3. 2040 街

4-4. 2060 海の住まい

4-5. 2100 星の舟

5. 「ネオ縄文」の意味を1つにする

6. 守ること (公開前チェック)

7. 次に決めること (CEO)

世界観の正本 v2 — 定住から、もう一度の遊動へ

2026-09-24 / v2 / status: **Working** (叩き台。名前・年・定義はCEOが選んで確定する)
位置づけ：世界観ページ (www.gugen-hd.com/worldview) と、3Dシーン (scenes/*.json) の**唯一の正本**。下敷き：symbiom-worldtree-map.md (7枝と現在地) / neo-jomon-blueprint-v1.md (村の段の制度と金) / local-vehicle-comparison.md (器の一次情報) 誠実性ルール (../whitepapers/README.md・../os/charter-v1.md §8)：**事実／試算／願いを分ける**。本文中の各段落の頭に〔事実〕〔試算〕〔願い〕〔解釈〕を付ける。

0. この版で決めたこと (CEO・2026-09-24)

	決定
年	段に年を当てる。2026 / 2030 / 2040 / 2060 / 2100。ただし「実現時期の保証ではない」注記を全段に付ける
名前	日本語の固有名+英語読み。VILLAGE / SPACE 等の英語の仮名は廃止。各段3案から選ぶ (§3)
思想の背骨	交換様式D (柄谷行人) を背骨、風穴を入口に置く (§1)
3D	UE 5.8 を Python で組んでレンダーする (unreal/・scenes/)

0-2. 2026-10-11 の CEO 追記 (この3点は上の表と §4 に優先する)

段	三島の言葉 (10-11)	正本への反映
2026 一人の器 (EGG)	「The EGG は先進的な構造をしている。木のシェルのような絵は世界観がずれている」	器の見た目は 実物の設計 (C2：白い FRP の卵形の殻・1800×1800×2200・可動の開口・オークの内装・リクライナー) を正とする。../egg/renders/ が参照。有機的な木の籠には描かない

段	三島の言葉（10-11）	正本への反映
2060 海の住まい（OCEAN）	「水上都市は、水上都市そのもので海洋を移動できる都市を構成したい。水害・天災・海面上昇に強いリスクマネジメントをちゃんとやる。実現可能性を保つ」	海洋を移動できる都市 が前提。湾に係留して陸に依存する浮体群ではない。災害への備えは「避ける（航路で嵐と津波域を外す）・耐える（構造と係留）・退く（寄港地と陸の避難）」の3層で書く。構想書 ocean-city-resilience-v1.md は v2 でこの前提に改める
2100 星の舟（SPACE）・地球の段	「地球論は、水上都市で築いた循環型社会の構築と、宇宙戦争が起こらないようにするための仕組みを踏まえて作る」	海→星の間に 地球の段（循環型社会の地球規模化＝海洋都市の網） を明示し、星の舟には 戦争を起こさない仕組み （舟と舟の間＝誰のものでもない航路・非武装・資源台帳の共有・出ていける自由）を置く。構想書 earth-and-space-governance-v1.md（新規）

1. 思想の骨格 ― 一文で

縄文は、人が定住を始めた時代だった。私たちは、定住したまま、遊動の自由を取り戻す社会をつくる。その入口を「風穴」と呼ぶ。

1-1. 交換様式（出典と読み方）

〔事実〕柄谷行人は、社会を「生産様式」ではなく「交換様式」から読み直した（『世界史の構造』岩波書店 2010・岩波現代文庫 2015／『力と交換様式』岩波書店 2022）。● **対外に出す前に、以下の引用に章・頁を原典で確認して付ける**（この版では未確認）。

	交換様式	典型	社会の形
A	互酬（贈与と返礼）	結・もやい・お裾分け	共同体（ムラ）
B	略取と再分配（服従と保護）	税と公共サービス	国家
C	商品交換（貨幣と商品）	市場・賃労働	資本
D	A の高次元での回復	—	まだ無い

〔事実〕柄谷の議論では、A は**定住とともに**生まれた（定住以前の遊動的なバンドには、蓄積も返礼の強制も弱かった）。定住が社会を変えたという議論は、西田正規『人類史のなかの定住革命』（講談社学術文庫 2007）を下敷きにしている。D は、定住以前の**遊動性（自由）**を、**A・B・C**を経たうえで高次元で回復するものとされる。〔事実〕● **柄谷は、D は人間が意図して設計・建設できるものではなく「向こうから来る」ものだ**と書いている（『力と交換様式』）。

1-2. 私たちの読み（ここからは〔解釈〕）

- D を「つくる」とは言わない。私たちがつくるのは、**A・B・C**で閉じた系に、**D**が入ってこられる隙間である。その隙間を **風穴**と呼ぶ。
- 縄文は、列島で**定住が始まった時代**（定住狩猟採集）。つまり A の世界。〔事実〕縄文人骨の暴力による死亡率は約1.8%と推定され、他地域の狩猟採集社会より低いとする研究がある（Nakao et al., *Biology Letters* 12(3), 2016）。一方で「縄文ユートピア」像への批判もあり、**定説として主張しない**。（../lab-blueprint-v1.md L45-49）
- **ネオ縄文 = A を取り戻した村**。ただし到達点ではない。ネオ縄文の村に風穴を開け続けた先に、D（定住したままの遊動）がある。
- 梯子の5段は、**定住の深まり**ではなく、**遊動の回復**の順に並ぶ：一人が自分の内側で動けるようになる（還る）→ 村が互いに結ぶ（結う）→ 村々が閉じずにつながる（通う）→ 住まいそのものが動く（漂う）→ 生命ごと遠くへ運ぶ（渡る）。

1-3. 風穴の定義

〔解釈〕風穴とは、閉じた系の中にいる一人が、**外の風に触れられる開口部**。閉じた系は3つある — **市場（C）**の注意と時間の奪い合い、**国家（B）**の制度の外に出られないこと、**自己**の同じ考えの反復（AIによる現実帯域の収縮を含む）。

- 風穴は**建物ではなく、仕組みと場所の組**として各段に必ず1つ置く（§4 の「風穴」欄）
- 風穴の条件は3つ：①**誰でも入れて、誰でも出られる**（出る自由がない共同体は A に戻るだけ）②**そこでは貨幣も命令も効かない時間がある**③**外から来た人・もの・問いが、そのまま残る**
- 〔事実〕ロゴ検討（2026-08-29）で、釘抜き紋を「風穴を開けて芯を通す」と説明している。紋の意味と世界観の入口を同じ語でつなぐ。

1-4. DAO の位置

〔事実〕いま実在する器は合同会社型DAO（金商法の定義府令 第9条の2第1項第2号・令和6年4月22日施行。一次情報は local-vehicle-comparison.md §C）。有価証券規制から外れる条件は**イ＝業務に従事する社員にしか持分を渡せない技術的措置／ロ＝出資額を超えて配当・分配を受けない、のいずれか**。〔解釈〕イを選べば、この制約は欠点ではなく「**資本（C）**でなく、**従事（A）**に対して返す」ことを法が後押ししていると読める。だから村の段では「仕事の回し方は組合

（一人一票）、従事への返し方はDAO」とする（neo-jomon-blueprint-v1.md §5）。〔願い〕街の段以降、DAO は村と村の間の返礼を記録する台帳になる。D を起こす道具ではなく、A が閉じないように開いておく道具。〔事実〕名前やトークンを先に発行しない。事業者4者が実際に仕事を出すまで、器は登記しない。

2. 梯子と年表

〔年の置き方〕2026＝いま、2030・2040＝JAPAN2040 の2つの分岐点、2060・2100＝一世代・三世代先。年は「この頃までに次の段の問いに取りかかりたい」という目安であり、技術の実現可能時期ではない。前後しうる。

〔注記・全段共通〕これは設計思想の連続性であり、技術の自動的な転用や実現時期の保証ではありません。各段に、独立した安全性・性能・環境の検証が必要です。（SYMBIOM p.12 の注記を引き継ぐ）

年	段（仮名 →§3で確定）	人数の桁	動詞	主な交換様式	風穴	いまだどこまで 来ているか （〔事実〕）
2026	一人の器（旧 EGG）	1	還る	C 中の一人 → 自分への 贈与	器そのもの	実物大試作機 1台・実証プ ロトコル草 案。効果デー タ0件。設計 は C2 / ZEN の2系統が未 決（決裁 4b064ffd）
2030	村（旧 VILLAGE）	数十	結う	A（結）+B （公費1/2） +C（利用料）	広場と「余白 の時間」	制度調査済 み・一拠点の 試算あり。拠 点・連携先・ 事業者0。相 模原は不採用 （19cda2c6 ）
2040	街（旧 HABITAT）	数千	通う	A の連合+C は上限つき	門のない境界	構想のみ

年	段（仮名 →§3で確定）	人数の桁	動詞	主な交換様式	風穴	いまだこまで 来ているか （（事実））
2060	海の住まい （旧 OCEAN）	数万	漂う	住まいが動く ＝遊動の回復	係留を解く日	構想のみ。N- ARK DOGEN CITY 等の外 部構想は証拠 段階が異なる ので分けて扱 う
2100	星の舟（旧 SPACE）	数十万（複数 の居住体の 網）	渡る	D への接近 （（願い））	舟と舟の間	構想のみ。拠 点では着手し ない（人工冬 眠・宇宙船・ ナノ）

旧版からの修正 - ● 人数が単調でなかった（SPACE「数～数十」が OCEAN「数百」より少ない／HABITAT と VILLAGE が重なる）→ **1段ごとに一桁以上増える**形に揃えた。星の舟は「一隻」でなく「居住体の網」として数える。 - ● HABITAT（人と生命が共に暮らす環境）は、村と海の間で役割が曖昧だった → **「村々がつながった街」**に置き換える。「自然との共生」の枝は村と街の両方に掛かる。 - JAPAN2040 との対応：2030 が分岐点（A＝ネオ縄文村／B＝作られた現実）、2040 が二度目の分岐。**この梯子は分岐Aを選び続けた場合の道筋**として描く。

3. 名前の候補（CEOが選ぶ）

選び方の軸：①縄文～古語の手ざわり ②英語で一語で言える ③宗教色・既存ブランドとの衝突がない ④動詞とつながる。

既存名との衝突（2026-09-24 検索・商標DBは未照会）：ユイ＝歌手YUI・各種商品名で検索が埋もれる／カヨイ＝Kayohi合同会社（化粧品）・営業管理ツールKAYOI／マホロバ＝雛人形ブランドMAHORоба（白石雛具）／トコヨ＝宝飾店TOKOYO（宇都宮）。● **採る前に J-PlatPat で商標を照会する。** **神話・古語由来**：ワダツミ（海神）・ムスヒ（産霊・造化三神）・トコヨ（常世）・アマノウキフネは記紀に由来する。採るなら「特定の信仰を主張しない」注記をページに置く。

世界全体（いまの SYMBIOM／決裁 ef2d46d7）

候補	読み（英）	意味	注意
SYMBIOM （据え置き）	SYMBIOM	共生＋生態系の造語	造語。対外の紙には刷らない方針（README:77）
ムスヒ	MUSUHI	古語「産霊（むすひ）」＝ものが生まれ出る力。「結ぶ」と同根とされる	● 神道の語。宗教色の確認が要る
カザアナ	KAZAANA	風穴。入口そのものを世界の名にする	一般名詞で商標は取りにくい

段ごと

年	案1	案2	案3	一行コンセプト案 (Dogen City の「医食住同源」にあたるもの)
2026 一人	ウツロ UTSURO (空洞＝何かが宿る器)	コモリ KOMORI (籠り・胎内)	タマゴ TAMAGO (旧 EGG の和訳)	「還るための、からっぽ」
2030 村	ユイ YUI (結＝互いに労を出し合う慣行)	ムラ MURA	ワ WA (環状集落の環)	「働くことと、返すことが同じ場所にある」
2040 街	カヨイ KAYOI (通い)	マホロバ MAHORоба (住みよい所)	イチ ICHI (市＝交わる場)	「閉じない村の、つながり」
2060 海	ウナサカ UNASAKA (海境＝海のかなたとの境)	ワダツミ WADATSUMI (海の神)	ミナト MINATO (水の門)	「住まいが、また動きはじめる」
2100 星	トコヨ TOKOYO (常世＝海のかなたの国)	アマノウキフネ AMANO-UKIFUNE (天の浮舟)	ホシムラ HOSHIMURA	「生命ごと、渡る」

- ・ **推奨（衝突を避けた組）**：ウツロ → ワ → イチ → ウナサカ → トコヨ。環（ワ）が市（イチ）で交わり、海境（ウナサカ）の向こうに常世（トコヨ）がある。
- ・ 旧案1（ウツロ → ユイ → カヨイ → ウナサカ → トコヨ）は、ユイ・カヨイの衝突で外した。「海のかなた（ウナサカ）の向こうに常世（トコヨ）がある」という古い世界観がそのまま海→星の接続になる。

- ワダツミ・ムスヒ・トコヨは神話由来。**特定の信仰を主張しない**注記を置くか、避けるかを定める。
- 「ネオ縄文」の対外使用は決裁 98069e8b（期限10-07）が未決。**段の名前はネオ縄文という語に依存させない。**

4. 各段の都市構造（3Dシーンの設計書）

共通の配置原理（〔解釈〕）：**同心円ではなく、中心が空いている**。縄文の環状集落（中央の広場を住居が囲む）を原型にし、段が上がっても**中心は所有されない空き地（風穴）**のまま残す。

4-1. 2026 一人の器

項目	内容
規模	1人。装置1台（C2：1800×1800×2200mm／ZEN：φ1500×H2700。未決）
配置	森の縁か、街の中の静かな部屋。 器の入口は外（森・空）に向けて開く
住・食・エネルギー	対象外（器は滞在の場で住まいではない）
学び・計測	内的状態の計測（研究所の土台）。〔事実〕人を対象にした実験0件・倫理審査体制なし
交換	C（研究費・受託）で作り、使う時間は貨幣が効かない
風穴	器そのもの 。閉じるための器ではなく、出てきた後に世界の見え方が変わるための器
3D	既存 ../egg/unreal/（C2 形状）。夜明け前の森の縁、器の内側から外が見えるカット

4-2. 2030 村（ネオ縄文）

項目	内容
規模	数十人。派遣職員6・事務局2・組合員5者の模型（〔試算〕 neo-jomon-blueprint-v1.md §3）
配置	環状 ：中央の広場（風穴）→ 共同の大屋根（寄合・食堂・工房）→ 住まい12～20棟の環 → 外周に田畑・森・水路

項目	内容
住	木と土の低い住まい。個室はあるが、台所と風呂の一部は共有
食	周囲の田畑・森からの採集と栽培。 循環率だけで「共生」を判定しない
エネルギー	小水力・太陽光・薪（地区の条件で変わる。（願い））
学び・計測	村の端に 計測の小屋 （いちばん新しい測定装置がある村＝2030年分岐Aの描写）
交換	A ：結（仕事の出し合い）／ B ：組合運営費の1/2が公費／ C ：派遣先からの利用料／ DAO ：従事への返し
器	事業協同組合（特定地域づくり）＋合同会社型DAO
風穴	広場と「余白の時間」 ：稼働率9割の残り1割を、誰の仕事でもない時間として持つ（〔解釈〕）
3D	朝霧の環状集落を斜め上から → 広場へ降りるカメラ。 scenes/village-2030.json

4-3. 2040 街

項目	内容
規模	数千人。村（数十人）が数十つつながる
配置	村の環が、道と水路で網になる 。網の結び目に市（いち）と学びの場。中心に都心はない
住・食・エネ	各村で自給し、足りない分を網で融通する
学び	研究所の分室が結び目に置かれる（〔願い〕）
交換	A の連合。C（市場）は網の結び目にだけ置き、村の中には入れない（〔解釈〕）
器	未定（組合の連合会／DAO 間の台帳が候補）
風穴	門のない境界 ：村と村の間に、誰の土地でもない通り道を残す
3D	夕方の空撮。灯りの点いた環が点々と網でつながる

4-4. 2060 海の住まい

● 2026-10-11 追加（CEO指示）：海の段は「水害・天災・海面上昇へのリスクマネジメント」を設計の根拠にして具体化する。具体構想（何に強く何に弱い・既存の到達点・当社の構想・実現可能性の段階・出典20件）は **ocean-city-resilience-v1.md**（Working・Grok批判を反映中）。下表は旧版の要約で、食い違えば構想書を正とする。

項目	内容
規模	数万人。浮体の住まいが群れになる
配置	浮体の環（村の形を海に移したもの）が、潮と季節で 係留と移動を繰り返す
住・食・エネ	浮体建築・海水農業・複合養殖（〔事実〕N-ARK 等が開発中の技術領域。証拠段階は別）
交換	住まいが動く＝ 遊動の回復 。所有より使用
器	未定
風穴	係留を解く日 ：年に一度、どの環もどこへでも移れる
3D	海面すれすれの低いカメラ、環状の浮体群と水平線

4-5. 2100 星の舟

項目	内容
規模	数十万人。複数の居住体（舟）の網
配置	回転する環状の居住体。内側に森と水（村の環がそのまま内面に貼られる）
交換	D への接近（〔願い〕）。 拠点では着手しない
風穴	舟と舟の間 ：どの舟にも属さない航路
3D	環の内側の森から、窓の外に地球

5. 「ネオ縄文」の意味を1つにする

旧（3通り）	新
①状態（知的生産が機械に移り〈望み〉が残る状態） ②2030年の村 ③梯子の VILLAGE 段	「2030年の村の段が実現する状態」の1つに絞る。 ①は村の段の説明文に吸収する

旧（3通り）	新
縄文の年数「1万年以上」「1万7000年」	「1万年以上」に統一し、「定説としては主張しない」を併記（ blueprint.html ・ web-blueprint/index.html §08 を修正済み。web-blueprint の再デプロイは未実施）
「生命的で、神秘性を持たせたい」（ blueprint.html §08・CEO の立ち位置）	残す。矛盾ではなく、D が「設計できず向こうから来る」（§1-1）ことの言い換えとして読む。村の段は制度で建て、 神秘は風穴の向こう側に置く （効能として主張しない）

6. 守ること（公開前チェック）

- ・〔事実〕〔試算〕〔願い〕〔解釈〕の区別を公開面でも崩さない。**試算の数字には必ず「試算」と書く**
- ・柄谷の議論は**出典つきで引き、私たちの読みは「私たちの読み」と書く**
- ・神話・古語由来の名前を採るときは「特定の信仰を主張しない」注記
- ・効能を主張しない（器の効果データは0件）／人を対象にした研究は倫理審査体制ができるまで行わない
- ・世界樹の個人の内省は公開に使わない
- ・未来像には必ず「いまどこまで来ているか」を1行添える

7. 次に決めること（CEO）

1. 名前：世界全体1つ＋各段1つ（§3）
2. 年：2026 / 2030 / 2040 / 2060 / 2100 でよいか
3. 風穴の定義（§1-3）を本人の言葉で直す
4. 「ネオ縄文」の対外使用（決裁 98069e8b・10-07）